

ポインセチア

Euphorbia pulcherrima

トウダイグサ科ユーフォルビア属



主な品種 フリーダム・・・定番。小鉢から大鉢まで人気がある。
 イチバン・・・苞葉の数が多く色は明るい。
 アイスパンチ・・・苞の中心に斑が入る。

花色



出荷時期 10月～12月

ポインセチアって？

クリスマスの代表的な鉢花として親しまれているポインセチアは三重県内では北勢地域を中心に生産されています。最近では一般的な赤だけでなくピンク、白、クリーム色など様々な品種が生産されていて、色を組み合わせた迎春寄せ植え等、クリスマスシーズンのみに限らず用途が広がっています。花言葉は「私の心は燃えている」、「祝福」、「聖なる願い」などで贈り物にぴったりです。

花のように見える赤い部分は花ではなく、葉が変形した苞（ほう）と呼ばれる部分になります。ポインセチアは夜が長くなると花芽が形成され、苞（ほう）が色づく性質をもっています。その性質を利用して、生産農家の圃場ではクリスマスシーズンに間に合わせるためにカーテンで光が入らないように覆い、短日処理を行います。寒さに弱いので夜間はなるべく10℃以下にならないところにおきましょう。

主な産地・・・桑名市、四日市市